

高橋名人の目から見たファミコンブーム

小山友介† 三宅陽一郎‡ 高橋利幸¶

† 芝浦工業大学システム理工学部 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作307

‡ 株式会社フロムソフトウェア 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-26-2

¶ 株式会社ハドソン 〒107-8446 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー32F

E-mail: † yuhsuke@shibaura-it.ac.jp, ‡ y_miyake@fromsoftware.co.jp ¶ meijin@16shot.jp

概要 本稿は、(株)ハドソン広報の高橋利幸氏(高橋名人)による講演「名人の目から見たファミコンブーム」の内容を「全国キャラバンファミコン大会」がファミリーコンピュータの普及・定着にもたらした影響という点から歴史的資料としてまとめたものである。主に小学生を対象に夏休みに行われたキャラバンは、高橋名人のキャラクター性と相乗効果をもたらし、1) 継続的な話題・刺激の提供によるゲームの娯楽としての「定着」2) 高橋名人のキャラクターと「ゲームは1日1時間」の標語化によるゲームの娯楽としての「健全化」、という影響を後にもたらした。

キーワード 高橋名人、ゲームは1日1時間、キャラバン、コロコロコミック、ファミコン、ハドソン

1. はじめに

本稿は2009年3月6日に東京大学で行われたDigra Japan公開講座「名人の目から見たファミコンブーム」の内容を中心に、1985～6年のファミリーコンピュータ(以下ファミコン)の大ブームにおける「全国キャラバンファミコン大会」と高橋名人の果たした役割をいくつかの補足資料を加えて歴史的資料としてまとめたものである。特に資料の出典がない場合、本文中での事実関係は講演の内容に準ずる¹。

2. ハドソンのファミコン参入

ファミコン参入前のハドソンはPC用ソフトウェアの開発を行っていた²。1970年代末には秋葉原(東京)・日本橋(大阪)の電気街で販売されるソフトの9割を占めるとまで言われていた³。ファミコン参入直前の1982年には、毎月20タイトル程度³発売していた。1タ

イトルの売行きは多くて1万本程度だった。

ハドソンがファミコンに参入したのは、ファミコンが発売された1983年に、ファミコン用のBASIC言語の開発をシャープ経由で依頼されたのがきっかけである。シャープはファミコンの製造を委託されている関係で任天堂と関係があり、ハドソンはシャープから発売されていたパソコンテレビX1向けのBASIC言語(Hu-BASIC)を開発していた⁴関係でシャープと関係があった。

開発を打診された当時、ファミコンのゲームタイトルの売上は30万本程度だった。しかも、本体価格は14,800円と安く、絵もPCをはるかに凌駕していた。一方、PCは本体価格がとても高く(家庭向けの安価なPCとして開発されたNECのPC-6001ですら89,800円した)、ゲームは売れて1万本である。経営者(当時)である工藤裕司・浩兄弟は躊躇なく参入を決めた。

ファミリーベーシックは最終的に1984年に発売されることになったが、この開発がなければハドソンの

¹ 最終的な文責は、執筆者(小山)にある。また、いくつかの事実確認では、CESA発行の『テレビゲームのちょっといい話④』⁵内にある「テレビゲームとともに～高橋名人の25年～」を参考にした。

² 開発したタイトルはゲームだけでなく、実用ソフトウェアも含まれる。

³ 機種ごとに実装が別なので、同名タイトルも機種別で1本と数える。

⁴ 当時のシャープのパソコン(MZシリーズおよびX1)は「クリーンコンピュータ」という設計思想をとっており、コンピュータ起動時に基本プログラムをロードする仕組みだった。基本プログラムはシャープを含む複数の企業から供給されており、ハドソンはその供給元の1社であった。

ファミコン参入は無かったか、もしくは遅れただろう。当時のPCゲーム会社の間では、ファミコンは「おもちゃ」という扱いだったためである⁵。

ファミコン参入時には、任天堂に発注時に前金として注文額の半額、納品時の残りの半額を支払う必要があった。社長が北海道拓殖銀行(当時。現在は北洋銀行)から個人融資を受けて支払った。中小企業が大半の当時のPCゲーム会社にとっては、ファミコンへの参入は「一か八か」の大きな決断であったのは間違いない。

最終的に、ハドソンはファミコンで36タイトルを発売し、そのうち4タイトルがミリオン(売上100万本)を達成した。その中には、参入時に発売された「ロードランナー」も含まれる。また、1994年に発売された「高橋名人の冒険島IV」がファミコンで発売された最後のタイトルとなった。

3. ファミコンブームと高橋名人

ファミコンが発売されたのは1983年だが、本格的な大ブームとなったのは1985年～1986年のことである。当時は様々な出来事が同時進行で発生しており、事態は非常に錯綜している。そのなかで、高橋名人は鍵となったイベントとして「春休みコロコロまんがまつり」、「全国キャラバンファミコン大会」、「クリスマスファミコンフェスティバル」の3つをあげている。また、これらのイベントの前提として、コロコロコミックとの提携が存在する。

3.1 コロコロコミックとの提携

当時のハドソンは、ゲームタイトルのキャンペーンを共同で行う出版社・雑誌を探していた。複数の会社にアプローチしたが断られ、唯一OKを出したのがコロコロコミック編集部だった。1984年の秋にコロコロコミックとの協力関係がスタートする。当時すでに広報担当だった高橋氏は当時の宣伝部役員だった大里幸夫氏から「週5日のうち5日間」編集部に通うよう指示を受ける。

⁵ 1983年に開かれたPCゲーム会社が集まったパーティ会場で、とあるPCゲームメーカーの社長から、工藤は「なぜおもちゃに行くの?」と聞かれたそうである。結局、この会社も後にファミコンに参入した。

コロコロコミックとの協力内容は、次の3点である:

- 1) 新規企画: 誌面での、ファミコンを中心としたマンガの展開(ファミコンランナー 高橋名人物語、ファミコンロッキー、ファミコン少年団)
- 2) コンテンツの利用: コロコロコミックで展開されているマンガのキャラクターを用いたゲームの制作(忍者ハットリ君、ドラえもん、ドッジ弾平! など)
- 3) 誌面での展開: 新ゲームの紹介や裏技の紹介など⁶

コロコロコミックが行っているイベント「コロコロまんがまつり」にハドソンも1985年に参加したことから、事態は大きく動いてゆく。

3.2 まんがまつりからキャラバンへ

1985年のまんがまつりへのハドソンの参加は、コロコロコミック側からの提案だった。ブレイク前とはいえ、ファミコンは1985年時点では300万台以上売っていたが(図1)、一般的に認知されているとは言い難い状況だった。コロコロまんがまつりは、この状況を打破したといえる。

当時のハドソンとしては、出版した『ファミリーコンピュータ・ファミリーベーシックがわかる本』¹⁴が12万部程度売っていたが、取次である東販・日販では「ファミコン関連本が今後どれだけ売れるか」疑心暗鬼な状態であり、これを払拭したい、という思いがあった⁷。一方、コロコロコミック側としては、「子供がどれくらいファミコンに熱中しているのか、実際に見てみたい」という思いがあった。4月17日に「チャンピオンシップ・ロードランナー」を発売することもあり、イベントはチャンピオンシップ・ロードランナーを用いておこなわれた。まんがまつりは3月31

⁶ ただし、裏技の完全な出し方を誌面に掲載することはなかった。あくまでも読者が自分で見つける楽しみを残す形で情報を提供した。

⁷ 最終的には、出版科学研究所のベストセラーランキングで1位が『スーパーマリオブラザーズ 完全攻略本』(ファミリーコンピュータマガジン編集部編、徳間書店)、10位に『スーパーマリオブラザーズ 裏技大全』(フタミ企画編、二見書房)、19位に『ドルアーガの塔のすべてがわかる本』(ログイン編集部編、アスキー出版局)が入った。1985年はファミコン関連本がかなり売れた1年だった。

日・4月1日に銀座松坂屋で行われ、1000人の子供が集まった。チャンピオンシップ・ロードランナーは最初の10ステージ以外を遊ぶにはすべてパスワードが必要となる。様々なステージの紹介もしたいがパスワードは見せられないという状況で、名人は「テレビ画面を背中で隠し、子供の方を向いて、両手を後ろに回してパスワードを入力する」というパフォーマンスを見せた。こういったパフォーマンスもあってかイベントは大変盛り上がり、イベント終了後も2～300人の子供が残り、「イベントを盛り上げた広報の高橋さん（名人という名称はまだ使われていなかった）」にサインを求めるような状況だった。

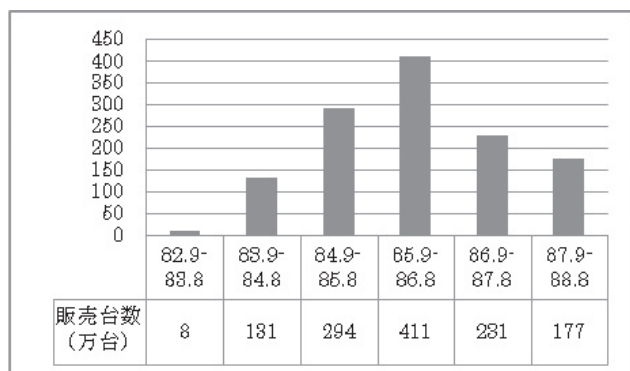


図1 ファミコンの販売台数推移

(当時の任天堂の決算期別推移、出典・文献[1])

この盛り上がりを受け、4月1日のイベント打ち上げ時に夏休みに全国キャラバンを行うことが急遽決定された。当然ながら、こういった全国キャラバンは家庭用ゲーム産業では初の試みである。また、子供に手本となるプレイを見せて遊び方を教えつつ、みんなに親しみやすい存在となるように名人という称号が考えられたのもこの頃である⁸。

夏休みイベントを子供たちに通知することを考えると、6月15日発売のコロコロコミック7月号で通知する必要があった。そこから逆算すると、5月末までに全国の会場(59箇所)をすべて押さえる必要があった。まず、全国で店舗を展開しているダイエーに協力を願ひ、33か所を押さえ、残りはハドソンの営業が会場を手配した。

⁸ 当時の名人は通称だが、2006年11月1日にハドソンで正式な人事発令があり、社内での役職も「名人」となった。

3.3 全国キャラバン

3.3.1 全国キャラバンの概要

全国キャラバンは1985年7月21日にスタートした。北キャラバンを毛利名人(当時)⁹、南キャラバンを高橋名人が担当した¹⁰。1箇所でのキャラバンは午前・午後の2部体制で、それぞれ250人が参加した。キャラバンの標準的なスケジュールは次のようなものだった。

- 午前6時：起床
- 午前7時：セッティング
- 午前10時子供会場入り
- 午後12時半：午前の部終了
- 午後1時半午後の部スタート
- 午後4時終了、撤収および移動
- ホテルで反省会

このスケジュールでディレクター1名、ドライバー2名(交代制)、名人、MC(女性アシスタント)の5名体制で全国を巡るのだから、非常に過酷だったことがわかるだろう¹¹。

3.3.2 標語「ゲームは1日1時間」の誕生

有名な「ゲームは1日1時間」の発言は、キャラバンの最中に生まれた。7月26日のダイエー香椎店(福岡県)でのイベント(写真1)は、それまでのキャラバンより保護者の見学が非常に多かった。そのことを意識して、高橋名人がイベント前の説明をする際に、「ゲームが上手くなりたかったら、1時間だけ集中してやるのがいい」と発言したのがきっかけである。

⁹ 毛利名人は当時大学生だった。85年5月に東京・平和島の東京流通センターで行われた「マイコンショウ」でハドソンブースに同人誌を持ち込んだのがきっかけとなり、ハドソン本社に呼んでスターフォースをプレイしてもらったところ高得点を挙げるので、急遽アルバイトとして「毛利名人」となることが決まった。

¹⁰ キャラバン開催が決定した当初は、予算の関係でキャラバンカー1台での開催を予定していた。TDKが3年間の冠スポンサーとなることが決定したことで、南北の2ルートでの開催が可能となった。

¹¹ 高橋名人はキャラバン以外に週末は営業担当者と別のイベントで玩具店を回っていた。そのため、最盛期である1986年にこなしたイベントは約500回に上る。



写真1 ダイエー香椎店でのキャラバンの様子

偶然、その会に問屋関係者が見学しており、「ゲームを売る人間があまりゲームをするなという趣旨の発言をしている」ということでその日のうちにハドソン本社に連絡がいき、緊急の役員会となった。発言をした当の高橋名人は翌日の電話でこのいきさつを知ることとなるのだが、そこで「会社として、ゲームは集中してやることを言ってゆくことにするので、標語化するように」との指示を受ける。そこで生まれたのが以下の5大標語である：

ゲームは一日一時間
外で遊ぼう元気よく
僕らの仕事はもちろん勉強
成績上がればゲームも楽しい
ぼくらは未来の社会人

この標語は名詞に印刷され（当時、小学生の間で名刺を交換するのが流行していた）、キャラバンに参加した子供たちに配布された（図2）。また、その後発売されるゲームにも記載することとなった（文字を大きくするために、「僕らの仕事はもちろん勉強」の標語は入っていない）。



図2 キャラバンで配布された名刺（表・裏）

こういった流れを受け、キャラバンの内容も徐々に変化した。1986年のキャラバンでは、高橋名人が話す時間が15分程度用意され、（ドッジボールのルールをまとめた東正樹氏監修による）「健康体操」と呼ばれる手の動きを「ファミコン体操」と称して子供たちに10分間程度一緒に行うようになった。

3.4 クリスマスファミコンフェスティバル

キャラバンはファミコンと高橋名人の人気を小学生とその保護者の間で不動なものとしたが、全世代を巻き込んだ社会的ブームとなったきっかけは、1985年12月22日に晴美国際貿易センターで行われた「クリスマスファミコンフェスティバル」である。

クリスマスファミコンフェスティバルに参加した子供は4000人にのぼり、イベントの様子が翌日（23日）の東京新聞に掲載された（図3）。また、東京新聞の記事をみた複数の週刊誌（『FRIDAY』及び『週刊文春』）から取材をうけ、それらの取材記事は翌年1月に掲載された。反響が反響を呼ぶ形となり、社会的ブームへと発展した。



図3 東京新聞での紹介記事

3.5 他のメディアへの露出と反響

高橋名人は雑誌メディアではコロコロコミックを中心として活躍していたが、同時期に他メディアへも多数出演している（表1）。

この中で、高橋名人のキャラクターを印象付けたのは「おはようスタジオ」である。キャラバン中の1985年8月14日に一度ゲスト出演した際に非常に好評だったこと（視聴率が1.5倍になった）から10月には月2回出演、11月からは毎週レギュラー出演となった。一度寝坊してスタジオに駆け込んだことがあり、その時に髪型をごまかすために被った帽子が、以降の名人のトレードマークとなった。

当時は、任天堂との契約により、ファミリーコンピュータ向けタイトルは通常の会社で年間3本、ハドソンなどの有力会社でも年間5本までしか発売できなかった。そのため、名人が番組内コーナーでハドソンのタイトルを紹介する際、各タイトルにつき2か月程度（8回）行う必要があった。ゲーム中のテクニック

の紹介だけでは8回分を消化するのが難しく、「裏ワザ」の紹介が一般化するようになった。

表1 高橋名人が出演した主な番組

	番組名	媒体
1985年8月14日 1985年9月～ 1986年6月	おはようスタジオ	テレビ東京
1986年10月～ 1987年12月	高橋名人の面白ランド	テレビ東京
1986年10月～ 1987年9月	Bug ってハニー	日本テレビ
1987年4月～	DOKI DOKI DO	日本テレビ
1986年7月～	全国子供電話相談室（水曜日）	TBSラジオ
1986年夏	GAME KING 高橋名人VS毛利名人 激突！大決戦（映画）	東宝系

4. キャラバンと高橋名人がもたらしたもの

高橋名人の話を元に、現代の視点から眺めたキャラバンが与えた影響をまとめると、大きく次の2つとなるだろう。

1) ゲームの遊びとしての「健全化」

スペースインベーダーの大流行（1979年～1980年）は社会現象となったが、同時にゲームといえば「暗い雰囲気ゲームセンターで不良が遊ぶもの」というイメージを持つ人を社会に多数生み出すこととなった。

キャラバンが始まる1985年に風俗営業法が改正され、ゲームセンターも8号店として規制の対象となった。社会のゲームに対する目は厳しいものであった。特に、子供にファミリーコンピュータのゲームを買い与える立場である親の層にとって、自分たちの子供が不良の予備軍となることを恐れていたであろうことは

¹² 主人公キャラクターのモデルが高橋名人。また、名人本人も主題歌を担当した。

容易に想像がつく。

そういった中で、当時の高橋名人が不良とは対極のイメージである「わんぱく少年」の雰囲気を持っていたこと、その高橋名人が「ゲームは1日1時間」の標語を掲げ、イベントでファミコン体操を行うといった「ゲーム以外の戸外遊びも推奨する」という行動をとったことのゲームを遊ぶ文化へのプラスの影響（健全化¹³）は、非常に大きかったといえるだろう。

2) 継続的な話題・刺激の提供による、ゲームの娯楽としての定着

キャラバン以前からファミリーコンピュータはすでに小学生に絶大な人気があった。だが、その人気がどこまで続くのかについては、商品を実際に売っている「大人たち」の側が半信半疑であった。玩具は栄枯盛衰の非常に激しい商品で、ある時期に極端なブームとなって品薄となっても、しばらくたつとそれが嘘のように売れなくなる、ということとが頻繁に起こる。ファミリーコンピュータが、というよりゲームという遊び自体が、いつかそうなると思われていた。

キャラバンは、小学生からの絶大な指示と熱気が実際に目に見える場であった。また、飽きやすい子供たちに継続的に次の話題・次の目標を与える役割を担っ

た。毎年多くの小学生が本当に熱心にゲームで遊んでいる姿をみて、小売店や流通関係者の認識も大きく変わっていったのである。

当時の任天堂が店頭でのイベントを行っていなかったことを考えると、ハドソンが「ファミリーコンピュータ、さらには日本のゲーム文化の発展の基礎を作った中興の祖」と言っていいただろう。

5. おわりに：キャラバンのその後と影響

本論文をまとめるにあたって、キャラバンのその後を記しておこう。キャラバンはその後、スターソルジャー（1986年）、ヘクター'87（1987年）を経て、1988年からはPC-Engineへとプラットフォームを移行する。その後、幾度かのプラットフォームの変更を経て、1998年に当時流行していたトレーディングカードの大会へと変貌を遂げ、運営主体もハドソン子会社でカード制作販売会社である未来蜂歌留多商会へと移行し、ゲームキャラバンとしては1997年までの13回でひとつの区切りとなった¹⁴。

キャラバンは終了したが、「ゲーム大会」というプロモーション手法は後の格闘ゲームの隆盛とともに本格的なものとなった。さらには、現在のe-sportsまでその影響を与えている、という言い過ぎだろうか。

¹³ 当時のハドソンが高橋名人の健全なイメージを保つことに腐心していたことを物語るエピソードがある。当時は写真週刊誌全盛期だったこともあり、名人は「いつどこから写真を撮られるかわからないから、ピンク街を歩くな」と強く言われていた。もし新宿歌舞伎町の映画館に行きたいなら、「道の真ん中をまっすぐ歩いて行って、真ん中を歩いて帰ってこい」とも言われた、とのことだった。

¹⁴ その後もハドソンもしくは関連会社は夏休みイベントを行っているが、「キャラバン」の名称を用いているのは2006年と2007年の2回のみである。

補論 イベント一覧1985～1987

(株) ハドソンのご厚意で、当時のキャラバンとその他イベントのリストをいただいた。資料的価値が非常に高いものであるため、ここに掲載したい。

1985年

チビッコ大集合！夏休みファミコンプラザ

TDK全国キャラバンファミコン大会

南キャラバン (高橋名人)

北キャラバン (毛利名人)

開催日	エリア	開催場所	エリア	開催場所
1985/7/21	鹿児島	ダイエー鹿児島店	北海道	ダイエー札幌麻生店
1985/7/22				
1985/7/23	熊本	ダイエー熊本店		
1985/7/24	福岡	ピーこっく久留米本店		
1985/7/25	福岡	ショッパーズダイエー福岡天神店	北海道	帯広藤丸百貨店
1985/7/26	福岡	福岡ダイエー香椎店	北海道	ダイエー旭川店
1985/7/27	福岡	岩田天神百貨店天神店		
1985/7/28	福岡	井筒屋百貨店小倉店	北海道	函館ホリタショッパーズプラザ湯ノ川店
1985/7/29				
1985/7/30	高知	高知市西武百貨店とでん西武	青森	青森市 武田百貨店
1985/7/31	愛媛	松山いよてつそごう		
1985/8/1	愛媛	ダイエー松山店	秋田	ダイエー秋田店
1985/8/2	広島	福山市 人形の館甲山屋	岩手	盛岡市 おもちゃの仁科店頭イベント
1985/8/3	広島	ダイエー広島駅前店	岩手	盛岡川徳百貨店
1985/8/4	岡山	ダイエー岡山店	宮城	ダイエー仙台店
1985/8/5	岡山	天満屋百貨店岡山店		
1985/8/6	岡山	天満屋百貨店倉敷店	山形	大沼百貨店山形本店
1985/8/7	鳥取	鳥取大丸		
1985/8/8			福島	福島市 中合百貨店
1985/8/9	福井	西武百貨店だるまや西武	福島	郡山市 ピノキオ
1985/8/10	石川	ダイエー金沢店	栃木	西武百貨店宇都宮店
1985/8/11	富山	大和百貨店富山店	埼玉	ダイエー熊谷店
1985/8/12	富山	高岡市 おもちゃのバンビ		
1985/8/13	新潟	ダイエー新潟店	山梨	甲府市 岡島百貨店
1985/8/14				
1985/8/15				
1985/8/16			埼玉	ダイエー大宮店
1985/8/17	愛知	名古屋ダイエー金山店	千葉	船橋ダイエーららぽーと
1985/8/18	愛知	名古屋ダイエー上飯田店	神奈川	ダイエー戸塚店
1985/8/19	静岡	藤枝市 一方堂	神奈川	横須賀さいか屋
1985/8/20	静岡	西武百貨店浜松店	神奈川	横浜ひろしやボルタ店
1985/8/21			神奈川	横浜たまプラーザ東急百貨店
1985/8/22	奈良	ダイエー大和高田店		
1985/8/23	兵庫	ダイエー西宮店	東京	武蔵野市 東急百貨店 吉祥寺店
1985/8/24	兵庫	ダイエー塚口店	東京	ダイエー目黒碑文谷店
1985/8/25	大阪	ブラントン難波店	東京	京王百貨店新宿本店
1985/8/26				
1985/8/27	兵庫	神戸そごう	東京	池袋サンシャインシティ 噴水広場
1985/8/28	大阪	阪急百貨店梅田本店		
1985/8/29	京都	京都大丸		
1985/8/30	大阪	阿倍野近鉄		

主催：TDK株式会社 協力：小学館コロコロコミック 制作：株式会社ハドソン



- 各会場先着500名が参加可能。午前の部と午後の部に分かれ、2分間の予選大会での得点上位者、それぞれ10名が5分間の決勝大会進出。
- 決勝大会での得点上位3名が表彰。
- ただし、大阪の阪急梅田本店と池袋サンシャインの大会に関しては、それぞれを350名（1会場700名）に増やした。

イベント内容

- スターフォース全国ファミコン大会
- 名人の攻略解説コーナー
- ファミコンロッキー特大コントローラー展示
- ファミコン名人、コロコロコミック人気まんが家サイン会
- ハドソングッズ販売ブース

スターフォース全国大会 競技内容

- 公式ソフト：スターフォース（1985年6月20日発売、ファミコン版）
- 使用機種：任天堂ファミリーコンピュータ10台～20台／ハドソンオリジナルジョイスティックのみ使用

賞品

- 全国グランドチャンピオン
 - 表彰状、トロフィー、TDKカセットテープ100本、TDKビデオテープ40本、ハドソン全ファミコンソフト（1984～1985年秋までの作品）、ハドソン・少年メディア1～2巻
- 各会場優勝者
 - 優勝認定証、TDKマリンバッグ、ハドソン大会特製Tシャツ、コロコロサンバイザーなど
- 各会場2～3位
 - 各認定証、TDKカセットテープ

キャラバン以外のイベント一覧

3/31～4/1	春休みコロコロまんがまつり・ファミコン名人のファミコン教室（東京・銀座松坂屋）
5/3	コロコロまんがまつり・スターフォース発売前ファミコン大会（千葉・柏高島屋）
7/23～8/4	第3回三越子ども博覧会・スターフォース大会（東京・日本橋三越本店）
7/30～8/4	ちびっこおもしろ博・スターフォース大会（東京・新宿三越）
7/31～8/4	コロコロまんがまつり・スターフォースファミコンコーナー（福島・郡山うすい百貨店）
8/07～8/13	スターフォースファミコン大会（東京・新宿小田急百貨店）
8/08～8/13	コロコロまんがまつり・スターフォースファミコンコーナー（神奈川・横須賀さいか屋）
8/20～9/1	スターフォースファミコン大会（埼玉・東武動物公園）
8/22～8/26	コロコロまんがまつり・スターフォースファミコンコーナー（山形・大沼百貨店山形本店）
10/29	高橋名人第1回講演会（東京・世田谷区三軒茶屋アムス西武）
11/3～11/4	スターフォースファミコン大会（宮崎・宮崎市フェニックス自然動物公園）
11/27～11/29	南日本放送秋祭り・スターフォースファミコン大会（鹿児島・鹿児島市MBCグラウンド）
12/14～12/15	広島ホームテレビ主催 冬休み全国スターフォースFC大会（広島・スーパーみどり広島宮内店）
12/22	冬休み全国FC大会（愛知・名古屋市 栄電社テクノビル4Fイベントホール）
12/22	冬休み全国FC大会・クリスマスFCフェスティバル（東京・晴海国際貿易センター南館）

1986年

第2回TDK全国キャラバン スターソルジャー ファミコン大会

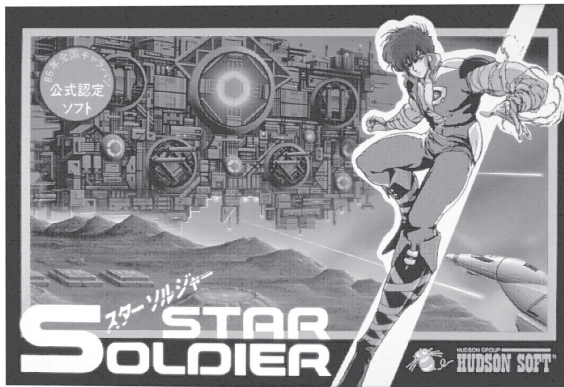
南キャラバン (桜田名人)

北キャラバン (川田名人)

開催日	エリア	開催場所	エリア	開催場所
1986/7/20	福岡	岩田屋百貨店天神店	東京	京王百貨店新宿本店
1986/7/21	佐賀	西友佐賀店	東京	保谷市 西友ひばりヶ丘店
1986/7/22	長崎	NBC長崎放送別館		
1986/7/23	熊本	鶴屋百貨店	神奈川	西友追浜店
1986/7/24	熊本	鶴屋百貨店	神奈川	西友横浜鶴見店
1986/7/26	鹿児島	山形屋本店		
1986/7/27	宮崎	寿屋百貨店	北海道	札幌丸井今井大通り本店
1986/7/29	大分	トキハ百貨店	青森	ダックシティ カネ長武田店
1986/7/30	福岡	井筒屋百貨店小倉店		
1986/7/31			秋田	秋田駅前イトーヨーカドー
1986/8/1	山口	スーパー大和 宇部中央店	岩手	盛岡マッハランド
1986/8/2	広島	広島そごう	岩手	盛岡マッハランド
1986/8/3	岡山	天満屋百貨店岡山店	宮城	仙台三越
1986/8/4			山形	山形交通ビル
1986/8/5	愛媛	松山いよてつそごう	福島	福島市 中合百貨店
1986/8/6	山口	スーパーイズミ南岩国店	福島	郡山市 うすい百貨店
1986/8/7	広島	スーパーイズミ福山蔵王店	福島	いわき市 大黒屋百貨店
1986/8/8			新潟	伊勢丹新潟店
1986/8/9	高知	西武百貨店とでん西武	埼玉	ロビンソン百貨店 春日部店
1986/8/10	香川	高松ジャスコ栗林店	神奈川	西友二俣川店
1986/8/11			栃木	西武百貨店宇都宮店
1986/8/12	島根	ショッピングデパートやよい松江店	東京	東武百貨店池袋店
1986/8/13	鳥取	ショッピングデパートやよい米子店	千葉	西武百貨店船橋店
1986/8/14			東京	西友大森店
1986/8/15	静岡	西友清水店	埼玉	西武百貨店大宮店
1986/8/16	愛知	西武百貨店春日井店	山梨	岡島百貨店
1986/8/17	愛知	丸栄百貨店豊橋店	長野	東急百貨店長野店
1986/8/18	愛知	丸栄百貨店名古屋栄本店	群馬	高崎高島屋
1986/8/19	大阪	近鉄百貨店阿倍野店		
1986/8/20	大阪	西武百貨店八尾店		
1986/8/22	滋賀	西武百貨店大津店	石川	金沢名鉄丸越百貨店
1986/8/23	兵庫	西武百貨店尼崎つかしん店	福井	西武百貨店だるまや西武
1986/8/24	大阪	心斎橋そごう	富山	ジャスコ高岡店
1986/8/25	大阪	西武百貨店高槻店		
1986/8/26			静岡	産業会館小展示場
1986/8/27			東京	銀座松坂や百貨店
1986/8/29	兵庫	神戸そごう	千葉	津田沼駅前パルコ&レッツ
1986/8/30			千葉	西友常磐平店
1986/8/31	大阪	大阪市梅田まんが博覧会特設会場	東京	京王百貨店新宿本店

※7月20日に大阪おもちゃ博覧会特設会場にてオープニングセレモニー

主催：TDK株式会社 協力：小学館コロコロコミック 制作：株式会社ハドソン



イベント内容

- スターソルジャー全国統一ファミコン大会
- スターソルジャー・スペシャルバージョン連射測定大会
- 名人の攻略解説コーナー
- 名人サイン会
- 各種グッズ販売コーナー
- 「高橋名人の妹」オーディション・挙手投票
- TDK ファミコンイントロクイズ

スターソルジャー全国大会 競技内容

- 公式ソフト：スターソルジャー（1986年6月13日発売、ファミコン版）

- 使用機種：シャープツインファミコン10台／ハドソンスティック及び本体付属の1コントローラーのみ使用
- 各会場先着1000～2000名が参加可能。2分間の予選大会での得点上位者合計20名が5分間の決勝大会進出。決勝大会での得点上位3名が表彰される。

賞品

- 全国グランドチャンピオン
 - 表彰状、大トロフィー、TDKカセットテープ60本、キャビネット3個、ハドソン新作ファミコンソフト3本（高橋名人の冒険島、迷宮組曲、ドラえもん）、コロコロウインドブレーカーなど
- 各会場優勝者
 - 優勝認定証、TDKグッズ、ハドソン大会特製Tシャツ、コロコログッズなど
- 各会場2～3位
 - 各認定証、TDKグッズ
- 参加賞
 - カセットインデックス、ハドソン映画ステッカー

キャラバン以外のイベント一覧

1/2～1/4	長野放送主催冬休み全国ファミコン大会・スターフォースFC大会（長野・東急百貨店長野店）
1/3～1/7	コロコロまんがまつり・ハドソンFCコーナー（熊本・熊本市鶴屋百貨店）
1/3～1/8	コロコロおもしろパーティー・冬休みスターフォースFC大会（兵庫・西武百貨店尼崎つかしん店）
1/6～1/7	コロコロおもしろパーティー・冬休みスターフォースFC大会（東京・東武百貨店池袋店）
1/11	札幌テレビ主催ファミコンコンテスト・スターフォースFC大会（北海道・札幌STVホール）
1/25～1/26	スターフォースFC大会（広島・天満屋百貨店府中店）
3/21	ダイエー・忍者ハットリくんFC大会（神奈川・ダイエー横浜戸塚店）
3/22	ダイエー・忍者ハットリくんFC大会（千葉・ダイエー新松戸店）
3/23	ダイエー・忍者ハットリくんFC大会（千葉・船橋ダイエーららぽ〜と店）
3/27	春休みコロコロまんがまつり・ハドソンFC裏技発表コンテスト（東京・銀座松坂屋）
3/31	春休みコロコロまんがまつり・忍者ハットリくんFC大会（東京・銀座松坂屋）
4/26～4/29	忍者ハットリくんFC大会&高橋名人オンステージ（北海道・札幌丸井今井大通り本店）
4/26～5/5	コロコロまんがまつり・ハドソンFCブース（大阪・西武百貨店八尾店）
5/3～5/5	忍者ハットリくんFC大会&高橋名人オンステージ（大阪・大阪市なんばCITY）
5/3～5/5	西新岩田屋ファミコン大百科展・忍者ハットリくんFC大会（福岡・福岡市西新岩田屋）
5/3～5/5	コロコロファミコンフェスティバル・忍者ハットリくんFC大会（兵庫・西武百貨店尼崎つかしん店）

5/4～5/5	コロコロおもしろパーティー・ハドソンFCブース（鹿児島・山形屋鹿児島本店）
5/17～5/18	忍者ハットリくんFC大会&高橋名人オンステージ（東京・渋谷区青山こどもの城）
5/25	東京大学五月祭・高橋名人のファミコン実戦講座（東京・東京大学工学部2号館大講堂）
5/25	コロコロ少年団ファミコンクラブ・忍者ハットリくん認定大会（岡山・岡山ビブレホール）
6/1	ロッテアーモンドボール・ファミコンフェスティバル（大阪・南港インテックス大阪）
6/8	ロッテアーモンドボール・ファミコンフェスティバル（東京・晴海国際貿易センター南館）
6/8	GAME KING・高橋名人v.s.毛利名人 公開録画（東京・渋谷区青山こどもの城）
6/29	コロコロ少年団ファミコンクラブ・ハットリくん&スタソル認定大会（岡山・岡山RSKメディア）
7/27～7/29	コロコロファミラジキャンプAコース・高橋名人のFC教室（山梨・河口湖畔）
7/28～8/3	創刊10周年記念夏休みコロコロまんがまつり・ハドソンブース（東京・昭島市モリタウン特設会場）
7/29～7/31	コロコロファミラジキャンプBコース・高橋名人のFC教室（山梨・河口湖畔）
8/1～8/6	第1回ファミコン選手権 スターソルジャー FC大会（愛知・名古屋三越栄本店）
8/3～8/11	創刊10周年記念夏休みコロコロまんがまつり・ハドソンブース（鹿児島・山形屋鹿児島本店）
8/9～8/10	コロコロ少年団ファミコンクラブ・スターソルジャー認定大会（岡山・倉敷三越）
8/13～8/18	創刊10周年記念夏休みコロコロまんがまつり・ハドソンブース（大分・大分市トキハ会館2F）
8/16	小田急ファミコンフェスティバル・高橋名人の冒険島大会（東京・新宿小田急百貨店）
8/16～8/18	コロコロ少年団ファミコンクラブ・スターソルジャー認定大会（岡山・岡山高島屋）
8/20	天神岩田屋夏休みFC大会 スターソルジャー FC大会（福岡・岩田屋福岡天神店）
8/23～8/27	創刊10周年記念コロコロ夏休みまんがまつりSP コロコロ王国 スタソル親子早撃ちトーナメント（群馬・伊香保ハイランド・スケートセンター）
8/24	山陽放送主催 スターソルジャー FC大会（岡山・岡山RSKバラ園）
9/14	コロコロ少年団ファミコンクラブ・高橋名人の冒険島認定大会（鳥取・米子ホープタウンピロティ）
9/15～9/28	ランニングボーイ&GAME KING特別上映・ハドソンアドベンチャー劇場（全国8ヶ所）
9/23	桜田名人出演・ハドソン交通安全イベント（東京・戸山公園）
10/5	コロコロ少年団ファミコンクラブ・高橋名人の冒険島認定大会（岡山・岡山RSKメディアコム）
10/12～3/15	雪印乳業杯争奪 コロコロ東海FCチャンプ・高橋名人の冒険島認定大会（東海地区予選27ヶ所）
10/19	ハドソン・スターソルジャー FC大会（大阪・河内長野 南海美加の台住宅フェア特設会場）
10/20～11/20	迷宮組曲完成記念・ハドソン出前キャラバン（依頼があれば出前でイベント開催）
10/26	ハドソン・スターソルジャー FC大会（大阪・河内長野 南海美加の台住宅フェア特設会場）
11/3	迷宮組曲体験DAY（大阪・EXPO遊園地）
11/9	ハドソン・スターソルジャー FC大会（茨城・長崎屋勝田店）
11/29	西友・ハドソン 迷宮組曲FC大会（千葉・船橋市 津田沼パルコ&レッツ）
11/30	西友・ハドソン 迷宮組曲FC大会（東京・西友オズ大泉店）
12/6	西友・ハドソン 迷宮組曲FC大会（神奈川・西友横浜戸塚店）
12/14	西友・ハドソン 迷宮組曲FC大会（埼玉・西友小手指店）
12/26	国技館 by HUDSON ～僕らは未来の社会人～（東京・墨田区 両国国技館）

同時期開催：86年10/12～87年5/5

雪印乳業杯争奪 コロコロ東海ファミコンチャンプ（国内29大会開催） 公式ソフト 高橋名人の冒険島

1987年

TDK夏休み全国ツインファミコン大会 HECTOR' 87 ザ・グレートキャラバン

南キャラバン（川田名人）

北キャラバン（島田名人）

日程	エリア	開催場所	エリア	開催場所
1987/7/19	福岡	岩田屋百貨店天神店	東京	西武百貨店池袋店
1987/7/20			東京	西友大森店
1987/7/21	長崎	NBC長崎放送別館		
1987/7/22	佐賀	嬉野町温泉センター		
1987/7/24	鹿児島	山形屋本店		
1987/7/25	宮崎	寿屋百貨店	北海道	トイスターサンピアザ店
1987/7/26			北海道	札幌丸井今井大通り本店
1987/7/27	沖縄	琉球放送RBCホール		
1987/7/28	沖縄	琉球放送RBCホール	青森	ダックシティ カネ長武田店
1987/7/29			岩手	盛岡マッハランド
1987/7/30			岩手	盛岡マッハランド
1987/7/31	熊本	鶴屋百貨店	秋田	秋田駅前イトーヨーカドー
1987/8/1			宮城	仙台三越
1987/8/2			山形	十字屋山形店
1987/8/3	大分	トキハ会館		
1987/8/4	福岡	井筒屋百貨店小倉店	福島	中合百貨店
1987/8/5	山口	小野田市サンパーク	福島	郡山市 うすい百貨店
1987/8/6			福島	いわき市 大黒屋百貨店
1987/8/8	広島	スーパーみどり宮内店	新潟	
1987/8/9	広島	すーぱーみどり宮内店		
1987/8/10	岡山	天満屋百貨店岡山店	長野	
1987/8/11	香川	高松ジャスコ栗林店		
1987/8/12	徳島	徳島そごう		
1987/8/13	高知	西武百貨店とでん西武	千葉	船橋市 サンペデック
1987/8/14	愛媛	松山いよてつそごう	栃木	西武百貨店宇都宮店
1987/8/15			埼玉	与野市 西友与野店
1987/8/16	島根	安来市 プラーナ	神奈川	西友横浜鶴見店
1987/8/17	鳥取	米子大丸	神奈川	西友横浜戸塚店
1987/8/18			山梨	西武百貨店甲府店
1987/8/20	静岡	静岡イトーヨーカドー		
1987/8/21			富山	ジャスコ高岡店
1987/8/22	大阪	高島屋堺店	石川	金沢名鉄丸越百貨店
1987/8/23	大阪	心斎橋そごう	福井	西武百貨店だるまや西武
1987/8/24	兵庫	西武百貨店尼崎つかしん店		
1987/8/25	大阪	西武百貨店八尾店		
1987/8/26	大阪	イズミヤ泉佐野店ペリカン	千葉	西友常盤平店
1987/8/28	愛知	名鉄百貨店神宮前店	埼玉	西武百貨店所沢店
1987/8/29	愛知	名鉄ストアー東郷店	埼玉	ロビンソン百貨店春日部店
1987/8/30	愛知	名鉄ストアー常滑店	東京	西武百貨店池袋店



イベント内容

- ヘクター '87全国統一ツインファミコン大会
- 大声コンテスト
- ボンバーキング・カラオケモード大会
- シュウォッチ裏キャラバン
- 名人の攻略解説コーナー
- 名人サイン会
- TDKファミコンイントロクイズ
- 各種グッズ販売コーナー
- お楽しみ応援賞争奪イベント

ヘクター '87全国大会 競技内容

- 公式ソフト：ヘクター '87（1987年7月16日発売、ファミコン版）
 - 使用機種：シャープツインファミコン20台・ハドソンオリジナルジョイカード及びハドソンスティック、本体付属の1プレイヤー・コントローラのみ使用
- 各会場先着1000～2000名が参加可能。参加

者は「小3以下男子及び女子全般クラス」「小4・小5男子クラス」「小6以上男子クラス」の3つのクラスにわかれて大会に参加。

- 各部門から2分間の予選大会での得点上位者を選出、合計20名が5分間の決勝大会に進出する。そして決勝大会での各部門別の得点上位1名（計3名）が表彰される。

賞品

- 全国グランドチャンピオン
 - 表彰状、大トロフィー、TDKカセットテープ80本、カセットキャビネット2個、カロリーメイト1年分、ハドソン新作ファミコンソフト3本（ボンバーキング、桃太郎伝説、ファザナドゥ）など
- 南・北クラス別チャンピオン（グランドチャンピオンを除く5名）
 - 表彰状、TDKカセットテープ20本、キャビネット1個、ハドソン新作ファミコンソフト1本など
- 各会場部門別優勝者
 - 優勝認定証、FCソフト「ボンバーキング」、TDKカセットテープ5本、ハドソン大会特製Tシャツ、スクイズボトル、コロコログッズなど
- 参加賞
 - カセットインデックス、グレートキャラバンロゴ入り特製ボールペン

キャラバン以外のイベント一覧

1/3～1/4	コロコロ少年団お正月・スタソル&冒険島FC大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）
1/3～1/4	コロコロ少年団お正月・スタソル&冒険島FC大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山原尾島店）
1/3～1/4	コロコロ少年団お正月・スタソル&冒険島FC大会（岡山・天満屋ハピータウンリブ総社店）
1/3～1/4	コロコロ少年団お正月・スタソル&冒険島FC大会（岡山・天満屋ハピータウン西大寺店）
1/25	コロコロ少年団FCクラブ・ハドソンゲーム認定大会（鳥取・米子ホープタウンピロティ）
3/15	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（長野・長野ギャラリーコム）
3/21～3/22	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（群馬・高崎カッパピア特設会場）
3/21～3/29	KBC鹿児島放送第2回こども博覧会・ハドソンイベント館（鹿児島・鹿児島市こども博覧会特設会場）
3/27	コロコロまんがまつり・川田名人のファミコンチャレンジ教室（兵庫・西武百貨店尼崎つかしん店）
3/27～4/1	コロコロまんがまつり・高橋名人の必勝ファミコン館（兵庫・西武百貨店尼崎つかしん店）
3/29	カッパピア by HUDSON（群馬・高崎カッパピア特設会場）
3/29	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（鳥取・米子ホープタウンピロティ）
3/29	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）

3/31 ~ 4/2	'87春休みコロコロ面白ランドキャンプ・高橋名人のFC教室（神奈川・箱根小涌園ベガサス館）
4/3 ~ 4/5	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（高知・フェスティバル土佐「味まつり」特設会場）
4/5	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（岡山・天満屋ハピータウンリブ総社店）
5/3	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（大阪・近鉄百貨店上本町店）
5/4	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（大阪・心斎橋大丸）
5/4	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）
5/4 ~ 5/5	雪印乳業杯争奪 コロコロ東海FCチャンプ決勝戦・ドラえもん魔境編FC大会（愛知・岡崎葵博'87イベントステージ）
5/5	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（東京・練馬区 テレコムプラザ光が丘）
5/10	KBC PAO ~ N遊びのフェスティバル by HUDSON（福岡・福岡市国際センター）
5/24	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（広島・天満屋ハピータウン福山みどり町店）
5/31	ハドソン ドラえもん魔境編FC大会（東京・品川区 荏原公園特設会場）
7/12	コロコロ少年団FCクラブ・迷宮組曲&ドラえもん認定大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）
7/19 ~ 8/30	第3回TDK夏休み全国ツインファミコン大会 ザ・グレートキャラバン（全国58ヶ所）
7/20 ~ 9/23	第1回ハドソンこども映画全国大会 ハドソンムービー上映会（全国31ヶ所）
7/21 ~ 8/12	ハドソンムービー先行試写会 ロッテ夏休み映画まつり（関東・関西地区 全25ヶ所）
7/21 ~ 8/31	ハローマック ヘクター '87全国大会（全国ハローマック店舗）
7/26 ~ 8/5	高橋名人と夏休みアメリカ冒険キャンプAコース（アメリカ・ロサンゼルス他）
7/31 ~ 8/5	コロコロまんがまつり・ヘクター '87大会（東京・渋谷東急百貨店東横店）
8/2 ~ 8/12	高橋名人と夏休みアメリカ冒険キャンプBコース（アメリカ・ロサンゼルス他）
8/2	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（広島・天満屋ハピータウン福山みどり町店）
8/04 ~ 8/07	コロコロ・面白ランド サマーキャンプAコース（群馬・南牧村キャンプ場）
8/07 ~ 8/10	コロコロ・面白ランド サマーキャンプBコース（群馬・南牧村キャンプ場）
8/9	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（岡山・天満屋ハピータウンリブ総社店）
8/12 ~ 8/17	コロコロまんがまつり・ヘクター '87大会（山形・大沼百貨店山形本店）
8/13	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（鳥取・米子ホープタウンピロティ）
8/16	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）
8/23	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（岡山・津山市マルシンストアー）
8/25	コロコロ少年団FCクラブ・ヘクター '87認定大会（岡山・天満屋ハピータウン玉野店）
10/3 ~ 10/4	第11回全日本こども絵画コンクール・コロコロまんがまつり PCエンジン世界初公開イベント （東京・豊島区としまえん屋内館）
10/18	PCエンジン発売記念・PCエンジンTHE功夫大会（東京・池袋サンシャインシティ噴水広場）
10/18	コロコロ少年団の集い・ハドソン飛田プログラマー講演会&PCエンジン体験ブース （広島・天満屋ハピータウン福山みどり町店）
10/25	コロコロ少年団の集い・ハドソン飛田プログラマー講演会&PCエンジン体験ブース（岡山・天満屋ハピータウンリブ総社店）
10/29 ~ 11/3	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（神奈川・横浜高島屋）
10/30 ~ 11/3	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（東京・吉祥寺東急百貨店）
10/30 ~ 11/3	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（埼玉・ロビンソン百貨店春日部店）
10/30 ~ 11/3	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（愛知・名古屋松坂屋本店）
10/30 ~ 11/3	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（京都・京都高島屋）
10/30 ~ 11/4	PCエンジン発売記念・ビックリマンまつり PCエンジン大会（大阪・阪急百貨店梅田本店）
11/8	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（岡山・天満屋ハピータウン岡山岡南店）
11/22	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（岡山・天満屋ハピータウン西大寺店）
11/22	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（愛知・豊橋ハイショップ名豊ジョイワールド）
11/23	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（岡山・天満屋ハピータウン玉野店）
11/29	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（愛知・豊橋ハイショップ名豊ジョイワールド）
12/20	コロコロ少年団の集い・ハドソンPCエンジン体験ブース（岡山・天満屋ハピータウン西大寺店）
12/22 ~ 1/6	コロコロおもしろまつり・ハドソンPCエンジン体験ブース（神奈川・横浜そごう）
12/26	コロコロまんがまつり・川田名人のPCエンジンスーパーテクニックランド（埼玉・大宮高島屋）
12/27	カトちゃんケンちゃん ごきげんフェスティバル（東京・両国国技館）

87年7/21 ~ 8/31

ハローマック・ヘクター '87全国大会 国内約180店舗で開催

公式認定ソフト ヘクター '87

文 献

- [1] 平林久和,『ゲーム業界就職読本 '98年度版』, アスペクト, 1997
- [2] 相田洋, 大塚敦,『新・電子立国4 ビデオゲーム・巨富の攻防』, N H K出版, 1997
- [3] 東京都写真美術館,『ファミリーコンピュータ 1983-1994』, 太田出版, 2003
- [4] 『ファミリーコンピュータ・ファミリーベーシックがわかる本』, ハドソン, 1984
- [5] 『テレビゲームのちょっといい話④』, (社) コンピュータエンターテインメント協会, 2007

ゲーム

- (1) Lode Runner, Douglas E. Smith, Brøderbund, 1983年. (APPLE II)
- (2) ロードランナー, ハドソン, ハドソン, 1984年. (ファミリーコンピュータ)
- (3) チャンピオンシップ・ロードランナー, ハドソン, ハドソン, 1985年. (ファミリーコンピュータ)
- (4) スターフォース, テーカン, テーカン, 1984年.(アーケード)
- (5) スターフォース, ハドソン, ハドソン, 1985年.(ファミリーコンピュータ)
- (6) スターソルジャー, ハドソン, ハドソン, 1986年.(ファミリーコンピュータ)
- (7) ヘクター '87, ハドソン, ハドソン, 1987年.(ファミリーコンピュータ)

The Video Game Console Boom as Seen by Takahashi Meijin

Yuhsuke Koyama[†] Youichiro Miyake[‡] Toshiyuki Takahashi[¶]

[†]College of Systems Engineering, Shibaura Institute of Technology,
307 Fukasakuku, Minuma-ku,Saitama, 337-8502 Japan

[‡]FromSoftware Inc., 2-26-2 Sasazuka, Shibuya-ku, Tokyo, 151-0073 Japan

[¶]HUDSON SOFT COMPANY, 9-7-1 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-6288

E-mail: [†]yuhsuke@shibaura-it.ac.jp, [‡]y_miyake@fromsoftware.co.jp, [¶]meijin@16shot.jp

Abstract This manuscript is a compilation of the contents of a speech by Mr. Toshiyuki Takahashi (Takahashi Meijin), public relations executive of Hudson Soft, “The Video Game Console Boom as Seen by Takahashi Meijin” into a historical document, from the perspective of the influence that the “Hudson Caravan” had on the dissemination and establishment of the video game console. The “Hudson Caravan,” held during summer vacation and primarily targeting elementary school students, had a synergetic effect with Takahashi Meijin’s character, and later had the effect of 1) the establishment of video games as entertainment based on a continuing supply of topics and stimulation, and 2) “the establishment of video games as healthy entertainment” based on Takahashi Meijin’s character and the sloganization of “one hour per day of video games.”

Keywords Takahashi Meijin, One Hour per Day of Video Games, Caravan, CoroCoro Comic, Video Game Console, Hudson